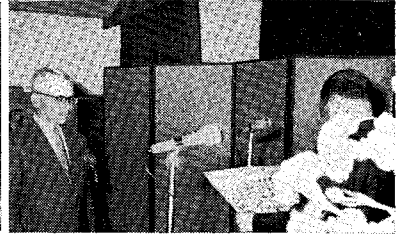




(高野議長)



(会場風景)



(受賞風景)

土木学会第58回通常総会報告

土木学会第58回通常総会は、昭和47年5月29日(月)14時17分から東京市ヶ谷の私学会館において、出席会員139名、委任状提出者5540名、計5679名の出席を得て開催された。

高野会長が議長となり、議案1.昭和46年度事業報告、2.昭和46年度決算報告、3.名誉会員の推挙、につき担当理事、議長よりそれぞれ説明があり、原案どおり可決、評議員会の決議事項が報告された。引き続き名誉会員推挙状の贈呈、土木学会賞および吉田研究奨励金の授与、新任役員の紹介が行なわれ、岡本新会長が挨拶、3時53分閉会し、つづいて国鉄常務理事 長正雄氏による「超高速新幹線について」(別掲)と題する特別講演が行なわれた。

◎議案1.昭和46年度事業報告

(昭和46.4.1~47.3.31)

I. 理事・監事の選挙

(昭和46年4月23日)

退任	留任	新任
会長 大石 重成君		高野 務君
副会長 米谷 栄二君 斎藤 義治君 長浜 正雄君	河上 房義君	石川 豊君 奥村 敏恵君 篠原 謙爾君
専務理事 羽田 巖君		下村 肇君
理事		
内田 一郎君 岡田 清君 後藤 幸正君 境 隆雄君 末沢 不二雄君 鈴木 篤君 鈴木 秀昭君 田中 茂君 平岡 治郎君 星 治雄君 牧野 文雄君 南 俊次君 毛利 正光君	浅間 隆君 井上 孝君 石上 立夫君 岩垣 雄一君 尾崎 晃君 吉川 秀夫君 後藤 明治君 長谷川盛一君 三浦 孝雄君 村田 清逸君 山本 有三君	足立 力君 荒木 謙一君 小山内了介君 岡田 政三君 金子喜太郎君 叶 清君 後藤 尚勇君 鈴木 立夫君 竹内 良夫君 難波 尊象君 林 正道君 半谷 哲夫君 細井 正延君
監事 川瀬 正俊君 柳瀬 珠郎君		横田 周平君

II. 役員の登記

理事の義更登記 昭和46年7月29日完了

III. 通常総会および役員会

1. 通常総会 46.5.28

私学会館(東京都)

出席者: 12690名(うち委任状12580名を含む)

会員数: 31688名

定足数: 1584名

議案:

1) 昭和45年度事業報告(承認)

2) 昭和45年度決算報告(承認)

3) 名誉会員の推挙(承認)

富樫 凱一君 真井 耕象君
松尾 春雄君 柳沢 米吉君

報告:

評議員会の決議事項

1) 第56回通常総会提出議案、その他: 45.5.22 定例評議員会(可決)

2) 土木学会役員候補者選考内規の改正、個人会費の改正: 46.1.21 臨時評議員会(可決)

3) 昭和46年度事業計画および予算: 46.3.31 定例評議員会(可決)

表彰:

1) 土木学会賞の授与

功績賞: 鮫島 茂君 岡田信次君
技術賞: 日本鉄道建設公団
阪神高速道路公団

論文賞: 市原松平君 {佐藤 裕君
樋口芳朗君

論文奨励賞: 坂井藤一君 星谷 勝君
吉田賞: {山田順治君
寺本秀男君
塚山隆一君

田中賞:

(1) 論文部門(該当なし)

(2) 作品部門

神戸大橋 富士川水管橋

加古川橋梁

2) 吉田研究奨励金の授与

(1) 公募のもの

泉 満明君 菊川 浩治君
飯島 尚君 {小森 博君
宮崎 修輔君
大和 竹史君 {高田 正朗君
津村 重信君

松本 進君

(2) 委員会が必要と認めた調査研究

町田 篤彦君

土木学会コンクリート委員会

新任理事および監事の紹介:

2. 評議員会

1) 定例 46.5.20: ①第57回通常総会提出議案(可決), ②基金繰入(可決), ③昭和46年度新役員選挙の結果報告(了承)

2) 臨時 47.1.19: ①特別委員会費改正(可決)

3) 定例 47.3.30: ①昭和47年度事業計画(可決), ②昭和47年度予算(可決)

3. 理事会

定例: 昭和46年4月から昭和47年3月まで12回: ①協議事項80件, ②報告事項53件

4. 支部幹事長会議 46.9.7

①全国大会について, ②支部の要望について

IV. 各種委員会

1. 表彰委員会

委員長 高野 務君
副委員長 河上 房義君
功績賞主査 奥村 敏恵君
技術賞主査 三浦 孝雄君

ほかに委員および幹事 26名

1) 委員会3回, 主査幹事会1回, 2) 功績賞, 技術賞の選考。

2. 論文賞選考委員会

委員長 小西 一郎君
副委員長 前田 幸雄君
第1部門主査 田島 二郎君
第2部門主査 嶋 祐之君
第3部門主査 福岡 正巳君
第4部門主査 井上 孝君
第5部門主査 丸安 隆和君

ほかに委員および幹事 26名

1) 委員会3回, 主査幹事会2回, 2) 論文賞および論文奨励賞の選考。

3. 吉田賞選考委員会

委員長 水野高明君, 副委員長 園分正胤君
ほかに委員および幹事 17名

1) 委員会3回, 小委員会1回, 幹事会1回, 2) 吉田賞および吉田研究奨励金被授与者の選考。

4. 田中賞選考委員会

委員長 奥村敏恵君, 副委員長 猪股俊司君
ほかに委員および幹事 21名

1) 委員会3回, 幹事会1回, 2) 田中賞(論文・作品両部門)の選考。

5. 土木学会創立60周年記念事業委員会

委員長 高野 務君, ほかに顧問および委員

35名

1) 委員会1回, 2) 創立60周年記念事業について検討。

5.1 記念出版部会

部会長 八十島義之助君, ほかに委員および幹事8名

1) 委員会3回, 2) 土木工学ハンドブックの改訂をはじめ, 記念出版物について検討。

6. 企画委員会

委員長 堀 武男君, ほかに委員および幹事26名

1) 委員会2回, 2) 土木界発展のための方策および土木学会のあり方について検討。

7. 行事企画委員会

委員長 森 茂君, 副委員長 嶋 祐之君
ほかに委員および幹事27名

1) 委員会5回, 幹事会8回, 小委員会3回, 2) 昭和46年度夏期講習会(46.9.16~17 東京都)に協力, 3) 昭和46年度全国大会(46.10.1~3 仙台市)に協力, 4) 関係団体との共催等に協力, 5) 全国大会のあり方について検討, 6) 昭和46年度秋のエキスカッション(46.11.30~12.1 山口県)を実施。

8. 土木学会誌編集委員会

委員長 千秋信一君, ほかに委員および委員兼幹事50名

1) 委員会5回, 小委員会10回, 幹事会3回, 座談会3回, 打合せ3回, その他4回, 2) 土木学会誌56巻4号から57巻3号まで12冊を発行: 登載内容; 論文12, 報告29, 特集記事12, 資料6, 寄書13, 講座12, 座談会対談3, 話のひろば14, 委員会報告9, マンスリートピックス36, 新刊紹介30, 選定映画報告5, ブックガイド, その他等, 3) 年間発行総部数: 314700部, 4) 年間発行総ページ数: 1979ページ。

8.1 書評小委員会

委員長 堀江 興君, ほかに委員12名

1) 委員会8回, 2) 国内の土木系出版物の書評, 新刊紹介およびブックガイド等を会誌に掲載。

9. 土木学会論文編集委員会

委員長 前田 幸雄君
副委員長 久野 悟郎君
第1部門主査 伊藤 学君
第2部門主査 室田 明君
第3部門主査 久野 悟郎君
第4部門主査 新谷 洋二君
第5部門主査 岩間 滋君

ほかに委員および幹事61名

1) 合同委員会1回, 主査幹事会11回, 小委員会55回, 連絡会議4回, 2) 論文報告集188号から199号まで12冊を編集, 3) 年間発行総部数: 68200部, 4) 年間発行総ページ: 1576ページ。

9.1 欧文論文集編集小委員会

委員長 林 泰道君, ほかに委員および幹事10名

1) 委員会2回, 打合せ1回, 2) 欧文論文集 Vol. 2, Part 1, 2 および Vol. 3, Part 1 の編集作業を完了解散。

10. 文献調査委員会

委員長 小林一輔君, ほかに委員および幹事28名

1) 委員会11回, 2) 会誌56巻4号から57巻3号までに文献抄録49件, 78ページ, 文献目録6192件, 97ページを登載, 3) 解説記事1編, 6ページを会誌に登載。

10.1 図書館運営小委員会

委員長 園田桂一君, ほかに委員3名

1) 委員会6回, 2) 図書館備付図書 の収集, 整備。

11. 出版委員会

委員長 石川 豊君, 副委員長 堺 毅君
ほかに委員および幹事15名

1) 委員会1回, 幹事会2回, 打合せ4回, 2) 学会出版物および監修出版物の企画, 調整管理, 3) 46年度中の主な刊行物は別表(27ページ)のとおり。

12. 日本土木史編集委員会

委員長 青木楠男君, 副委員長 佐藤寛政君
ほかに委員および幹事27名

1) 日本土木史(昭和16年~昭和40年)を編集。

13. 土木工学叢書委員会

委員長 最上武雄君, ほかに委員および幹事8名

1) 土木工学叢書全23巻を監修中。

14. 土木製図基準改訂委員会

委員長 菊池洋一君, ほかに委員および幹事20名

1) 委員会3回, 2) 土木製図基準1972年版の編集を完了。

15. わかり易い土木講座編集委員会

委員長 福田政雄君, 副委員長 後藤正司君
ほかに委員および幹事40名

1) 打合せ回数, 2) わかり易い土木講座全20巻を編集。

16. 水理公式集改訂委員会

委員長 吉川秀夫君, 副委員長 岩垣雄一君
ほかに委員および幹事39名

1) 主査会議1回, 2) 水理公式集(46年改訂版)の編集を完了し, 47年1月をもって委員会を解散。

17. 土木年鑑編集委員会

委員長 春日屋伸昌君, 副委員長 湯浅 昭君
ほかに委員および幹事38名

1) 委員会1回, 2) 出版社との出版契約満了に伴い土木年鑑の発行を一時中止することとし, 当委員会は46年11月をもって解散。

18. コンクリート委員会

委員長 園分正胤君, ほかに委員および幹事75名

1) 委員会1回, 打合せ1回, 2) コンクリートに関する調査研究を実施, 3) コンクリート関係の小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進, 4) コンクリート・ライブラリー No. 29~30号を編集。

18.1 プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会

委員長 園分正胤君, ほかに委員および幹事63名

1) 委員会2回, 分科会1回, 2) プレストレストコンクリート設計施工指針の改訂準備中。

18.2 終局強度設計小委員会

委員長 園分正胤君, 副委員長 河野通之君
ほかに委員および幹事29名

1) 幹事会3回, 2) コンクリートの終局強度設計方法に関する調査研究を実施中。

18.3 フライアッシュ小委員会(受託)

委員長 園分正胤君, ほかに委員および幹事30名

1) 幹事会2回, 2) フライアッシュを混和したコンクリートの鉄筋の発錆に関する長期試験を実施中。

8.4 PC工法小委員会(VSL工法)

(受託)

委員長 園分正胤君, ほかに委員および幹事52名

1) VSL工法設計施工指針(案)の審議を終了。

18.5 PC工法小委員会(SEE工法)

(受託)

委員長 園分正胤君, ほかに委員および幹事47名

1) 委員会5回, 現地視察1回, 2) SEE工法設計施工指針(案)の審議を終了, 3) 現地視察(46.12.2 浜松市)を実施。

18.6 アルミナセメント小委員会(受託)

委員長 園分正胤君, ほかに委員および幹事14名

1) 委員会1回, 幹事会3回, 2) アルミナセメントコンクリート施工指針(案)の審議を終了, 3) アルミナセメントコンクリートに関するシンポジウム(46.6.6 東京都)を開催し, 講演集を編集。

18.7 プレキャストコンクリート杭に関する研究小委員会(受託)

委員長 園分正胤君, ほかに委員および幹事19名

1) プレキャストコンクリート杭の使用方法に関する調査研究を終了。

18.8 プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会(受託)

委員長 最上武雄君, 副委員長 園分正胤君
ほかに委員および幹事42名

1) 委員会2回, 主査幹事会1回, 分科会6回, 2) プレストレストコンクリート杭設計施工指針を審議中。

18.9 膨張性セメント混和材を用いたコンクリートに関する研究小委員会 (受託)

委員長 園分正胤君, ほかに委員20名

1) 委員会2回, 幹事会2回, 2) 膨張性セメント混和材を用いたコンクリートの試験研究を実施中。

19. 水理委員会

委員長 吉川秀夫君, ほかに委員および幹事53名

1) 委員会2回, 幹事会5回, 打合せ1回, 2) 水理学に関する調査研究を実施, 3) 第7回水工学に関する夏期研修会(46.7.21~29 広島市)を開催し, 講義集を編集, 4) 第16回水理講演会(47.2.18~19 東京都)を開催し, 講演集を編集, 5) 昭和46年度水理学研究の現況を調査し, 第16回水理講演会講演集に併載, 6) 河川災害に関するシンポジウム(47.2.19 東京都)を後援, 7) 水理公式集改訂に伴う講習会(47.2.9~10 東京都, 47.2.21~22 京都市)に協力, 8) 水理学に関する国際会議報告会(46.9.29 東京都)を開催, 9) 日本学術会議水力学・水理学研究連絡委員会に協力。

19.1 移動床流れの粗度と河床形状研究小委員会

委員長 林 泰造君, ほかに委員15名

1) 委員会5回, 2) 移動床流れの粗度と河床形状に関する調査研究を実施。

19.2 編集小委員会

委員長 安芸周一君, ほかに委員6名

1) 委員会3回, 2) 昭和46年水理学研究現況調査のとりまとめ。

19.3 水文学小委員会

委員長 石原英雄君, ほかに委員および幹事12名

1) 水文学に関する調査研究を実施。

20. 橋梁構造委員会

委員長 平井 敦君, 副委員長 小西一郎君
ほかに委員および幹事29名

1) 委員会4回, 2) 橋梁構造工学に関する調査研究を実施, 3) 日本学術会議構造研究連絡委員会・橋梁構造工学分科会に協力, 4) 国際橋梁・構造工学協会(IABSE)に協力, 4) 本委員会を解散し, 鋼構造委員会ならびに構造工学会として46年11月より発足。

20.1 耐風設計研究小委員会

委員長 平井 敦君, ほかに委員および幹事20名

1) 委員会3回, 分科会1回, 2) 構造物の耐風設計に関する調査研究を実施, 3) 相似則に関する調査研究を実施, 4)

本委員会解散に伴い, 当小委員会も解散し, 構造工学委員会耐風設計小委員会として46年11月より発足。

20.2 橋梁年報編集小委員会

委員長 阿部英彦君, ほかに委員3名

1) 委員会3回, 2) 「橋 1970~1971」の編集, 3) 本委員会解散に伴い, 当小委員会も解散し構造工学委員会橋梁年報編集小委員会として46年11月より発足。

20.3 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会 (受託)

委員長 奥村敏恵君, ほかに委員および幹事41名

1) 委員会3回, 分科会30回, 2) 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究を実施, 3) 塗装, 設計基準, 解析, 荷重, 座風, 疲労, 鋼材の各分科会を設置し, それぞれの専門分野につき調査研究を実施。

20.4 本州四国連絡橋耐風研究小委員会 (受託)

委員長 大久保忠良君, ほかに委員, 幹事17名および特別委員4名

1) 委員会8回, 幹事会10回, 打合せ1回, 分科会6回, 現地視察2回, 2) 本州四国連絡橋耐風に関する調査研究を実施, 3) 実験橋作業分科会を設置し, 調査研究を実施。

21. 構造工学委員会

委員長 平井 敦君, 副委員長 園分正胤君
ほかに委員および幹事29名

1) 委員会2回, 2) 構造工学に関する調査研究を実施, 3) 第18回橋梁構造工学研究発表会(46.12.13 東京都)を共催, 4) 日本学術会議橋梁構造研究連絡委員会・橋梁構造工学分科会に協力, 5) 国際橋梁・構造工学協会(IABSE)に協力, 6) 第3回耐風構造国際会議(46.9.8~9 東京都)を開催に協力, 7) 耐風設計研究小委員会および橋梁年報編集小委員会を設置, 8) 構造工学関係の委託研究委員会の調査研究を促進。

22. 鋼構造委員会

委員長 次永和夫君, 副委員長 奥村敏恵君
ほかに委員および幹事23名

1) 委員会3回, 幹事会1回, 2) 鋼構造に関する調査研究を実施。

23. 海岸工学委員会

委員長 岩垣雄一君, ほかに委員および幹事44名

1) 委員会3回, 幹事会6回, 2) 海岸工学に関する調査研究を実施, 3) 第18回 海岸工学講演会(46.10.28~29 札幌市)を開催し, 同時に見学会(46.10.30 札幌オリンピック会場施設等)および漂砂に関するシンポジウム(46.10.30 札幌市)を実施, 4) 国際海岸工学会議に

協力。

23.1 海岸工学編集小委員会

委員長 堀川清司君, ほかに委員8名

1) 委員会3回, 2) 第18回海岸工学講演会論文集および Coastal Engineering in Japan Vol. 14 の編集。

24. 耐震工学委員会

委員長 岡本舜三君, 副委員長 久保慶三郎君
ほかに委員および常任委員42名

1) 委員会3回, 常任委員会(研究会も含む)8回, 打合せ11回, 編集小委員会2回, 2) 耐震工学の調査研究を実施, 3) 「構造物の地震応答解析と実例」を編集, 4) 第11回地震工学研究発表会(46.7.20~21 東京都)を開催し, 講演集を編集, 5) 地震工学に関する文献目録(第1回)を作成し, 地震工学研究発表会講演集に併載, 6) サンフェルナンド地震震害調査報告書を取りまとめ, 土木学会論文報告集第195号(46.11)に登載, 7) 「土木技術者のための振動便覧」の改訂につき検討, 8) 建造物の震害防止に関する研究促進につき検討, 9) 日本学術会議地震工学研究連絡委員会に協力, 10) 世界地震工学会議(WCEE)に協力, 11) 耐震工学関係の委託研究委員会の調査研究を促進。

24.1 本州四国連絡橋耐震研究小委員会 (受託)

委員長 久保慶三郎君, ほかに委員および幹事34名

1) 委員会5回, グループ打合せ20回, 打合せ1回, 見学会1回, 2) 本州四国連絡橋耐震に関する調査研究を実施, 3) 第1, 第2, 第3の各グループに分れそれぞれの専門につき調査研究を実施。

25. 原子力土木委員会

委員長 永田 年君, ほかに委員および幹事31名

1) 委員会1回, 幹事会1回, 打合せ1回, 2) コンクリート・立地・耐震・廃棄物の各部会で専門別に調査研究を実施, 3) 第8回理工学における同位元素発表会(46.4.18~19 東京都)を共催, 4) 第10回原子力総合シンポジウム(47.2.15~16 東京都)を共催, 4) 特集「原子力発電のよりよき理解のために」を土木学会誌第57巻2号(47.2)に登載。

25.1 原子力コンクリート部会

部会長 園分正胤君, ほかに委員および幹事27名

1) 部会1回, 幹事会1回, 分科会5回, 2) 原子力コンクリートに関する調査研究を実施, 3) P Sコンクリート原子炉構造物設計施工指針を審議中。

25.2 原子力立地部会

部会長 松井達夫君, ほかに委員および幹事21名

1) 部会2回, 幹事会1回, 分科会7回, 2) 原子力発電所の立地に関する調査研究(立地一般, 沿岸立地, 沖合立地, 地下立地)を実施, 3) 「わが国における原子力発電所の立地現況」を編集, 4) 原子力立地条件に関するアンケートのとりまとめを実施。

25.3 原子力耐震部会

部会長 岡本舜三君, ほかに委員および幹事14名

1) 部会8回, 主査会1回, 幹事会1回, 合同分科会1回, 2) 原子力発電所の耐震設計に関する調査研究を実施。

25.4 原子力廃棄物部会

部会長 左合正雄君, ほかに委員および幹事19名

1) 部会9回, 2) 原子力関係廃棄物の処理に関する調査研究を実施, 3) 「原子力発電所の廃棄物処理処分について」を土木学会誌第56巻8号(46.8)に連載。

26. トンネル工学委員会

委員長 藤井松太郎君, 幹事長 加納俊二君
ほかに委員および幹事49名

1) 委員会1回, 打合せ1回, 2) トンネル工学に関する調査研究を実施, 3) OECD 国際トンネル会議に協力, 4) トンネル関係小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進。

26.1 運営小委員会

委員長 住友 彰君, 副委員長 坂本貞雄君
ほかに委員および幹事18名

1) 委員会2回, 打合せ1回, 2) トンネル工学委員会の運営及び調査を実施。

26.2 シールド工法小委員会

委員長 西嶋国造君, 副委員長 遠藤浩三君
ほかに委員および幹事34名

1) 分科会1回, 打合せ2回, 2) 鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会(受託)を設置し, 調査研究を実施。

26.3 トンネル覆工における鋼製支保工の効果に関する研究小委員会(受託)

委員長 浜 建介君, ほかに委員および幹事19名

1) 幹事会1回, 2) トンネル覆工における鋼製支保工の効果に関する調査研究を実施。

26.4 トンネルの合理的設計に関する研究小委員会(受託)

委員長 住友 彰君, 副委員長 坂本貞雄君
ほかに委員および幹事33名

1) 委員会1回, 2) ずい道の合理的設計に関する研究報告書のとりまとめを完了。

27. 衛生工学委員会

委員長 左合正雄君, ほかに委員および幹事22名

1) 委員会3回, 幹事会5回, 打合せ2回, 2) 衛生工学に関する調査研究を実

施, 3) 第8回衛生工学研究討論会(47.1.28~29 東京都)を開催し, 講演集を編集, 4) 衛生工学関係の小委員会および委託研究委員会の調査研究を促進, 5) ウェバー氏来日に伴う講演会(46.8.18 東京都)を開催。

27.1 環境問題小委員会

委員長 松本順一郎君, 副委員長 南部祥一君
ほかに委員兼幹事および幹事18名

1) 委員会3回, 幹事会2回, 分科会3回, 2) 環境問題に関する調査研究を水質, 廃棄物, 大気各分科会に分れて実施。

27.2 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会(受託)

委員長 寺島重雄君, ほかに委員および幹事25名

1) 委員会3回, 分科会(幹事会も含む)11回, 現地視察1回, 2) 下水汚泥の農地還元に関する調査研究を実施, 3) 下水汚泥の海洋投棄に関する調査研究を実施, 4) 下水汚泥の脱水等に関する調査研究を実施, 5) 現地視察(46.10.8~9 鹿児島市)を実施。

27.3 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(受託)

委員長 岩井重久君, ほかに委員および幹事17名

1) 委員会5回, 打合せ2回, 現地視察1回, 2) 琵琶湖の将来水質に関する調査研究を実施, 3) 現地視察(46.11.19~20 大津市)を実施。

28. 岩盤力学委員会

委員長 岡本舜三君, 副委員長 畑野 正君
ほかに委員および幹事87名

1) 委員会1回, 運営委員会4回, 打合せ3回, 研究会3回, 分科会(打合せを含む)33回, 見学会1回, 改訂小委員会(幹事会を含む)10回, 2) 研究会, 第1分科会(ダム), 第2分科会(トンネル), 第3分科会(理論)に分れ, 各専門分野につき調査研究を実施, 3) 第7回岩盤力学に関するシンポジウム(47.2.24~25 東京都)を開催, 4) 「岩盤力学文献目録(第4回)」を作成し, 岩盤力学に関するシンポジウム講演集に併載, 5) 「土木技術者のための岩盤力学」を改訂準備中, 6) ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針(案)および地質調査に関する解説書を編集, 7) ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針(案)の作成に伴う講習会開催(47.6)を準備中, 8) 見学会(46.11.17~18 東電高瀬川発電所)を実施, 9) 岩の力学講演会(46.11.19 東京都, 46.11.26 大阪市)を共催, 10) 国際岩の力学会(ISRM)に協力。

29. 土木計画学研究委員会

委員長 米谷栄二君, 副委員長 八十島義之助君, ほかに委員, 委員兼幹事および幹事37名

1) 委員会3回, 幹事会4回, 打合せ4回, その他2回, 2) 第4回土木計画学講習会(46.8.19~20 東京都, 46.8.26~27 福岡市)を開催した。あわせて, 同講習会テキストを編集, 3) 第6回土木計画学シンポジウム(47.1.25~26 東京都)を開催し, その成果をプロシーディングとして編集。

30. 海洋開発委員会

委員長 本間 仁君, ほかに委員および幹事31名

1) 委員会1回, 幹事会2回, 2) 海洋開発に関する調査研究を実施, 3) 第2回海洋開発シンポジウム(46.4.17 東京都)を開催し, 講演集を編集, 4) 文献の収集, 5) 国際海洋工学委員会(ECOR)国内委員会に協力。

31. 八郎潟干拓船越水道計画施行研究委員会(受託)

委員長 本間 仁君, ほかに委員10名

1) 委員会1回, 2) 八郎潟干拓事業に伴う船越水道および導流堤付近の漂砂に関する調査研究を実施。

32. 中海干拓事業水理研究専門委員会(受託)

委員長 速水頌一郎君, ほかに委員および幹事28名

1) 委員会1回, 2) 中海干拓事業の中海および周辺地域におよぼす水理学的影響に関する調査研究を実施。

33. 河北潟干拓河口工事研究委員会(受託)

委員長 福田仁志君, ほかに委員および幹事20名

1) 委員会1回, 現地視察1回, 2) 河北潟干拓建設事業河口工事施行に関する調査研究を終了解散, 3) 現地視察(46.12.13 金沢市)を実施。

34. 土構造物の設計標準に関する研究委員会(受託)

委員長 最上武雄君, ほかに委員, 参与および幹事36名

1) 委員会2回, 幹事会3回, 2) 土構造物の設計標準に関する調査研究を実施。

35. 土木建造物の取替標準に関する研究委員会(受託)

委員長 沼田政矩君, ほかに委員, 参与および幹事47名

1) 委員会2回, 分科会18回, 2) 土木建造物の取替標準に関する調査研究を実施。

36. 合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究委員会(受託)

委員長 沼田政矩君, ほかに委員, 参与およ

び幹事 23 名

1) 委員会 2 回, 幹事会 2 回, 2) 合成桁鉄道橋の設計標準に関する調査研究を実施。

37. 青函トンネル土圧研究委員会(受託)

委員長 岡本舜三君, ほかに委員および幹事 32 名

1) 委員会 3 回, 小委員会 5 回, 打合せ 1 回, 現地視察 1 回, 2) 青函トンネル土圧に関する調査研究を実施, 3) 現地視察(46.8.23~27 吉岡・竜飛西建設現場)を実施。

38. 沈埋トンネル耐震設計研究委員会(受託)

委員長 岡本舜三君, 副委員長 伊吹山四郎君
ほかに委員兼幹事 25 名

1) 委員会 5 回, 主査幹事会 2 回, 幹事会 4 回, 打合せ 3 回, 分科会 2 回, 分科会打合せ 2 回, 見学会 1 回, 2) 沈埋トンネル耐震設計に関する調査研究を実施, 3) 見学会(46.10.29~30 神戸六甲トンネル)を実施。

39. 海洋構造物に関する調査研究委員会(受託)

委員長 村上永一君, ほかに委員および幹事 27 名

1) 委員会 2 回, 幹事会 3 回, 分科会 12 回, 2) 海洋構造物に関する調査研究を実施。

40. バイブライン技術基準研究特別委員会(受託)

委員長 奥村敏恵君, ほかに委員 20 名

1) 委員会 5 回, 2) バイブライン技術基準の研究を完了。

41. 高校土木教育研究委員会

委員長 山之内繁夫君, 副委員長 三宅政光君
ほかに委員および幹事 17 名

1) 委員会 2 回, 幹事会 6 回, 2) 工事計画と施工管理に関する夏期講習会(46.8.2~3 東京都)を共催, 3) 高校における土木教育の情報収集, 交換とその検討, 4) 施設・設備基準(案)を作成, 5) 委員会会報の発行準備・検討。

42. 大学土木教育委員会

委員長 奥村敏恵君, ほかに委員および幹事 36 名

1) 幹事会 3 回, 2) 大学土木教育に関する調査研究を実施, 3) 大学土木教育に関するアンケートの集計結果をとりまとめ中。

43. 視聴覚教育委員会

委員長 丸安隆和君, 副委員長 鈴木忠義君
ほかに委員および幹事 20 名

1) 委員会 2 回, 小委員会 5 回, 打合せ 1 回, 選定映画審査会 2 回, 2) 視聴覚教材の収集, 教育課程への応用に関する検討, 3) 土木技術者の視聴覚教育実

施調査に関するアンケートを実施, 4) 第 5 回土木学会映画コンクール(47 年 12 月)開催を準備中。

44. 海外活動委員会

委員長 太田尾広治君, 副委員長 吉越盛次君
ほかに委員および幹事 23 名

1) 委員会 4 回, 幹事会 6 回, 打合せ 2 回, 研究会 14 回, 2) 国際会議ニュースを毎月紹介, 3) 土木技術者の海外活動における問題点につき検討, 4) Civil Eng. in Japan 1971 年版編集, 5) Civil Eng. in Japan 1972 年版を編集, 6) 海外工事契約示様書研究会を設置し勉強会を継続中。

45. 建設コンサルタント委員会

委員長 猪瀬寧雄君, 幹事長 横田周平君,
ほかに委員および幹事 27 名

1) 委員会 2 回, 幹事会 2 回, 2) 建設コンサルタントに関する諸問題の調査研究を実施。

46. 安全問題研究委員会

委員長 丸安隆和君, ほかに委員および幹事 21 名

1) 委員会 4 回, 幹事会 7 回, 2) 都市

における地下埋設物の事故防止に関する調査研究を実施。

47. 水資源問題懇談会

座長 石原藤次郎君, ほかに委員 18 名

1) 懇談会 2 回, 準備会 1 回, 2) 水資源に関する諸問題の検討。

48. 総合開発懇談会

座長 八十島義之助君, ほかに委員および運営幹事会幹事 50 名

1) 懇談会 2 回, 運営幹事会 2 回, 2) 「鹿島臨海工業地帯の開発について討議」「琵琶湖総合開発について討議」。

49. 建設業に関する懇談会

座長 佐藤寛政君 幹事長 仁杉 敏君, ほかに委員および幹事 37 名

1) 懇談会 1 回, 2) 建設業に関する諸問題の検討。

50. 電算機に関する懇談会

座長 大地羊三君

1) 電算機の利用に関し, ハード, ソフトの両面にわたり検討中。

51. 土木会館建設懇談会

座長 高野 務君, ほかに委員および幹事 15 名

▶昭和 46 年度出版物一覧◀

土木用語辞典編集委員会編 土木学会監修	土木用語辞典
加藤三重次編 土木学会監修	建設機械(土木工学叢書)
日本代表団編 土木学会監修	OECD トンネル会議の全貌と現場視察報告
わかりやすい土木講座 編集委員会編	鉄道
同	土木製図
同	海岸・港湾
日本鉄道建設公団・ 本州四国連絡橋公団編	本州四国連絡鉄道吊橋技術調査報告書
同	本州四国連絡橋基礎調査実験報告書
投稿の手引き編集小委員会編	土木学会投稿の手引き
土木学会編	第 26 回年次学術講演会講演集第 1 部~第 5 部
土木学会誌編集委員会編	土木技術者のための法律講座
水理委員会編	水工学に関する夏期研修会講義集 1971, A・B
水理公式集改訂委員会編	水理公式集・昭和 46 年版
トンネル工学委員会編	沈埋トンネル要覧
橋梁年報編集小委員会編	橋 1970--1971
土木計画学研究委員会編	第 5 回土木計画学シンポジウム
同	土木計画学講習会テキスト 4
海外活動委員会編	Civil Engineering in Japan, Vol. 10, 1971
海岸工学委員会編	第 18 回海岸工学講演会論文集
同	Coastal Engineering in Japan, Vol. 14, 1971
コンクリート委員会編	コンクリートライブラリー 第 29 号 フレシネー工法設計施工指針(案)
同	コンクリートライブラリー 第 30 号 フープコーン工法設計施工指針(案)
下水汚泥の処分問題に関する 研究小委員会編	下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書 (昭和 45 年度)

1) 懇談会 2 回, 幹事会 2 回, 2) 土木会館建設に関する諸問題の検討。

○学会誌・論文集編集委員会連絡会
学会誌・論文集編集委員会代表 5 名

1) 連絡会議 4 回, 2) 投稿の手引き編集小委員会を設置し, 両委員会の連絡調整を行なった。

●投稿の手引き編集小委員会

主査 島田静雄君, ほかに委員 6 名

1) 委員会 2 回, 2) 土木学会投稿の手引き 1971 年版を編集して解散した。

V. 本部行事

1) 講演会・研究発表会・シンポジウム

- ① 46.4.17; 第 2 回海洋開発シンポジウム/土木図書館/講演数: 5 題/参加者: 150 名
- ② 46.6.16; アルミナセメントコンクリートに関するシンポジウム/土木図書館/講演数: 22 題/参加者: 200 名
- ③ 46.7.20~21; 第 11 回地震工学研究発表会/土木図書館/特別講演数: 1 題/研究会報告: 1 題/一般講演数: 34 題/参加者: 240 名
- ④ 46.8.18; Weber 氏 特別講演会/土木図書館/講演数: 1 題/参加者: 100 名
- ⑤ 46.9.22; 「ヨーロッパにおける海洋レジャー施設について」講演会/土木図書館/講演数: 1 題/参加者: 50 名
- ⑥ 46.10.1~3; 昭和 46 年度全国大会/1. 特別講演会 東北工業大学, 講演数: 3 題, 参加者: 800 名/2. 研究討論会 (各部門別) 東北工業大学, テーマ数: 10 題, 参加者: 延 1300 名/3. 第 26 回年次学術講演会 東北工業大学, 講演数: I 部門: 230 題 参加者: 延 1060 名, II 部門: 232 題 参加者: 延 1000 名, III 部門: 145 題 参加者: 延 635 名, IV 部門: 116 題 参加者: 延 425 名, V 部門: 126 題 参加者: 延 455 名/4. 映画: 28 編
- ⑦ 46.10.28~29; 第 18 回海岸工学講演会/札幌市自治会館/講演数: 73 題/参加者: 260 名
- ⑧ 46.10.30; 漂砂に関するシンポジウム/札幌市自治会館/講演数: 1 題/参加者: 120 名
- ⑨ 47.1.25~26; 第 6 回土木計画学シンポジウム/土木図書館/講演数: 1 題/参加者: 130 名
- ⑩ 47.1.28~29; 第 8 回衛生工学研究討論会/土木図書館/講演数: 13 題/参加者: 180 名
- ⑪ 47.2.18~19; 第 16 回水理講演会/発明会館/講演数: 25 題/参加者:

250 名

⑫ 47.2.24~25; 第 7 回岩盤力学に関するシンポジウム/土木図書館/特別講演数: 1 題/パネル討論: 2 題/一般講演数: 18 題/参加者: 190 名

2) 講習会・研修会・報告会

- ① 46.7.21~29; 第 7 回水工学に関する夏季研修会/広島市中国電力総室/講演数: A コース 10 題 参加者: 126 名, B コース 10 題 参加者: 123 名
- ② 46.8.19~20; 第 4 回土木計画学講習会 (東京)/土木図書館/講演数: 5 題/参加者: 155 名
- ③ 46.8.26~27; 第 4 回土木計画学講習会 (福岡)/九州大学/講演数: 5 題/参加者: 80 名
- ④ 46.9.16~17; 昭和 46 年度夏期講習会/杉並公会堂/講演数: 13 題/参加者: 375 名
- ⑤ 46.9.29; 水理学に関する国際会議報告会/土木図書館/報告数: 3 題/参加者: 30 名
- ⑥ 47.2.9~10; 水理公式集改訂に伴う講習会 (東京)/千代田公会堂/講演数: 18 題/参加者: 345 名
- ⑦ 47.2.21~22; 水理公式集改訂に伴う講習会 (京都)/京都産業会館シルクホール/講演数: 18 題/参加者: 341 名

3) 見学会・エキスカーション

- ① 46.10.4~5; 昭和 46 年度全国大会に伴う見学会/1. 蔵王エコーラインコース 参加者: 31 名/2. 中尊寺コース 参加者: 29 名/3. 青函コース 参加者: 39 名
- ② 46.10.30; 第 18 回海岸工学講演会に伴う見学会/A コース 参加者: 22 名/B コース 参加者: 17 名
- ③ 46.11.30~12.1; 昭和 46 年度秋のエキスカーション/新開門トンネル, 関門橋および自動車道, 阿武川ダム各建設現場/参加者: 38 名

4) 懇親会

- ① 46.5.28; 第 57 回通常総会に伴う懇親会/私学会館/参加者: 120 名
- ② 46.7.20; 第 11 回地震工学研究発表会に伴う懇親会/土木図書館/参加者: 22 名
- ③ 46.10.2; 昭和 46 年度全国大会に伴う懇親会/仙台グランドホテル/参加者: 356 名
- ④ 46.10.28; 第 18 回海岸工学講演会に伴う懇親会/札幌自治会館/参加者: 57 名

5) 他学協会との共催, 協賛, 後援

- ① 46.4.7~21 (5 日間); 鋼構造用高力

ボルトの新 JIS と施工指針説明会 (協賛)/東京都, ほかに 4 市

- ② 46.4.18~19; 第 8 回理工学における同位元素発表会 (共催)/東京都
- ③ 46.5.10; 鋼構造の座屈に関するシンポジウム (共催)/東京都
- ④ 46.5.27~28; 第 2 回安全工学国内シンポジウム (共催)/東京都
- ⑤ 46.6.2~3; 第 9 回接着研究発表会 (共催)/東京都
- ⑥ 46.7.6,9; 斜面安定工法講習会 (協賛)/東京都
- ⑦ 46.7.12~13; 第 29 回コンクリート講習会 (後援)/東京都
- ⑧ 46.8.2~3; 工事計画と施工管理に関する講習会 (共催)/東京都
- ⑨ 46.8.2~9.12; 第 18 回宅地造成技術講習会 (協賛)/東京都, ほかに 3 市
- ⑩ 46.8.23~25; 第 18 回腐食防食討論会 (共催)/札幌市
- ⑪ 46.8.23~25; 複合材料国際シンポジウム (協賛)/東京都
- ⑫ 46.9.6~9; 第 3 回耐風構造国際会議 (共催)/東京都
- ⑬ 46.9.8~9; 第 15 回材料研究連合講演会 (共催)/東京都
- ⑭ 46.10.7~28 (2 日間); 第 4 回コンクリート技術講習会 (後援)/東京都, ほかに 7 市
- ⑮ 46.10.12~15; 第 4 回標準化全国大会 (協賛)/東京都
- ⑯ 46.10.26~27; 第 21 回応用力学連合講演会 (共催)/東京都
- ⑰ 46.11.8~10; 第 16 回 FRP 総合講演会 (協賛)/大阪市
- ⑱ 46.11.9~26 (2 日間); 岩の力学講演会 (共催)/東京都, ほかに 1 市
- ⑲ 46.11.12~18 (3 日間); 建設用エポキシ樹脂講演会 (後援)/東京都, ほかに 2 市
- ⑳ 46.11.24~26; 鋼構造物の耐震設計に関するシンポジウム (協賛)/東京都
- ㉑ 46.11.26; 第 18 回風に関するシンポジウム (共催)/東京都
- ㉒ 46.11.26~30 (2 日間); PC 構造物に強くなるための講習会 (後援)/東京都, ほかに 1 市
- ㉓ 46.12.3; 第 18 回橋梁・構造工学研究発表会 (共催)/東京都
- ㉔ 47.1.17; 水力学・水理学研究の最近の進歩についてのシンポジウム (共催)/東京都
- ㉕ 47.2.15~16; 第 10 回原子力総合シンポジウム (共催)/東京都
- ㉖ 47.2.19; 河川災害に関するシンポジウム (後援)/東京都

㊦ 47.3.3; 原子炉用 プレストレスト コンクリートに関する講演会(後援)/東京都

VI. 支部行事

1. 北海道支部

- 1) 支部通常総会(46.4.30,建設会館)/2) 商議員会5回/3) 幹事会6回/4) 行事別幹事会9回/5) 支部運営委員会2回/6) その他の会議5回/7) 講演会
- ① 46.8.19; 第1回講演会(共催)/建設会館/講演数:2題/参加者:60名
- ② 46.9.22; 第2回講演会(共催)/建築指導センター/講演数:2題/参加者:50名
- ③ 46.10.28~29; 第3回講演会—海岸工学—(本部共催)/自治会館/講演数:73題/参加者:263名
- ④ 46.12.8; 第4回講演会(共催)/建設会館/講演数:2題/参加者:77名
- 8) 講習会
- ① 46.10.20~21; 第1回講習会—トンネル—(共催)/建設会館/講演数:6題/参加者:188名
- ② 46.11.22~30; 第2回講習会—気象と土木—/函館,旭川,網走,釧路,室蘭の各市/講演数:延16題/参加者:360名
- ③ 46.12.7; 第3回講習会—ダム—(共催)/建設会館/講演数:2題/参加者:78名
- ④ 47.1.27~28; 第4回講習会—工程管理—/建設会館/講演数:6題/参加者:188名
- 9) 研究発表会
- ① 47.2.25; 昭和46年度年次発表会/建設会館/発表数:32題/参加者:250名
- 10) 見学会
- ① 46.8.27; 第1回見学会—札幌地区—(共催)/見学先:地下鉄高速電車試乗,石狩河口橋,下野幌もみじ台団地造成/参加者:60名
- ② 46.9.6; 第2回見学会—函館地区—(共催)/見学先:上磯セメント工場,青函トンネル調査坑/参加者:60名
- ③ 46.10.22; 第3回見学会—札幌地区—(共催)/見学先:札幌バイパス 千歳~札幌間自動車道路/参加者:63名
- 11) 映画会
- ① 46.5.16; 学生のための映画会(共催)/室蘭工業大学/映画:3編/参加者:120名
- 12) 座談会
- ① 46.7.28; 建設事業合理化座談会/建設会館/議題:2題/参加者:17名

13) 刊行物

- ① 建設事業合理化座談会速記版(50部), ② トンネル技術講習会テキスト(500部), ③ 気象と土木技術講習会テキスト(5地区)(700部), ④ ダム講習会テキスト(500部), ⑤ 大型フィルダム講習会テキスト(150部), ⑥ 工程管理講習会テキスト(250部), ⑦ 研究発表会論文集(1700部)

2. 東北支部

- 1) 支部総会(46.5.12,建設会館)/2) 役員会2回/3) 商議員会3回/4) 幹事会2回/5) 昼食会8回/6) 全国大会関係会合33回/7) 講演会
- ① 47.2.8; 第1回講演会/建設会館/講演数:2題/映画:2編/参加者:200名
- 8) 技術研究発表会
- ① 47.2.22; 第1回技術研究発表会/宮城県民会館/発表数:70題/参加者:200名
- 9) 技術講座
- ① 47.2.17; 第1回技術講座/岩手教育会館/講演数:2題/映画:2編/参加者:250名
- 10) 学生のための見学会
- ① 46.10.22; 第1回見学会(岩手大学)/見学先:八幡,田沢湖,小岩井の各有料道路,鑑畑ダム/参加者:49名
- ② 46.11.13; 第2回見学会(東北学院大学)/見学先:釜房ダム,茂庭浄水場,仙台空港,関上大橋/参加者:60名
- ③ 46.11.25; 第3回見学会(東北大学)/見学先:仙台新港,北上大堰/参加者:80名
- 11) 刊行物
- ① 講演概要集(200部), ② 研究発表会論文集(200部)
- 12) その他
- ① 46.10.1~5; 昭和46年度全国大会(東北支部担当)/東北工業大学/参加者:1700名
- ### 3. 関東支部
- 1) 支部総会(46.4.28,土木図書館)/2) 新旧支部長・幹事長会,役員選考委員会3回/3) 幹事会3回/4) 担当幹事会7回/5) 講習会
- ① 46.11.25; 最近のコンクリートの話題講習会/土木図書館/講演数:3題/参加者:161名
- ② 47.2.16; 最近の杭の話題講習会/土木図書館/講演数:3題/参加者:223名
- 6) 見学会
- ① 45.12.9; 第1回見学会/見学先:神

奈川県内広域水道建設現場/参加者:52名

7) 映画会

- ① 46.10.27; 第1回映画会/栃木県民会館/映画:3編/参加者:140名
- ② 46.11.22; 第2回映画会/土木図書館/映画:2編/参加者:40名
- ③ 47.2.15; 第3回映画会/群馬県民会館/映画:3編/参加者:350名
- ### 4. 中部支部
- 1) 支部総会(46.4.23,長野国際会館)/2) 役員会4回/3) 支部顧問会,評議員会1回/4) 幹事会11回/5) 講演会
- ① 46.7.22; 第1回講演会/愛知県庁/講演数:2題/参加者:67名
- ② 46.10.15; 第2回講演会/岐阜産業貿易会館/講演数:2題/参加者:80名
- 6) 講習会
- ① 47.2.17; 第1回講習会/産業貿易会館/講演数:4題/参加者:189名
- 7) 研究発表会
- ① 46.11.12; 第1回研究発表会/金沢大学/発表数:70題/参加者:260名
- 8) 技術講座
- ① 46.8.25; 第1回技術講座/愛知県土木会館/講演数:4題/参加者:158名
- 9) 見学会
- ① 46.4.23; 支部総会に伴う見学会/見学先:東大松代地震観測所/参加者:70名
- ② 46.5.11; 役員会に伴う見学会/見学先:中央自動車道/参加者:30名
- ③ 46.6.18; 第1回見学会/見学先:新豊根ダム建設工事/参加者:49名
- ④ 46.9.14; 第2回見学会/見学先:名四国道竜宮町北頭間立体化工事,衣浦トンネル/参加者:64名
- ⑤ 47.3.21; 第3回見学会/見学先:浜岡原子力発電所建設工事/参加者:43名
- ### 5. 関西支部
- 1) 支部総会(46.5.19; 好文倶楽部)/2) 支部長・商議員・評議員の選挙/3) 役員会(商議員会4回,商議員書面審議1回,幹事会9回,庶務・会計・企画担当幹事会1回,計画・会計・庶務担当幹事会2回,庶務・会計担当幹事会3回,庶務担当幹事会4回,企画担当幹事会5回,計画担当幹事会5回)/4) 委員会,打合会,懇談会,その他(土木学会賞候補支部推薦委員会2回,役員候補者選考委員会委員打合会1回,財政に関する打合会2回,事務所運営委員会8回,建設機械講習会運営委員会4回,山陽新幹線水島地区見学会打合会2回,騒音振動

委員会 10 回、騒音振動委員会幹事会 12 回、支部長・騒音振動委員長懇談会 1 回、支部に関する懇談会 2 回、土木学会・土質工学会支部役員交流懇談会 1 回、3 学協会支部役員懇親会 1 回、会計監査 2 回)

5) 講演会

- ① 46.5.19; 支部総会に伴う講演会/好文倶楽部/講演数: 2 題/参加者: 78 名
- ② 46.5.9; 支部年次学術講演会(46 年度)/京都大学/特別講演数: 1 題/一般講演数: 206 題/参加者: 537 名
- ③ 46.6.29; サンフェルナンド地震による土木関係施設の被害報告会/大阪科学技術センター/講演数: 3 題/参加者 162 名
- ④ 46.8.27; 第 4 回業務研究発表会(後援)/大阪科学技術センター/特別講演数: 1 題/研究発表数: 9 題/研究委員会発表報告数: 4 題/参加者: 289 名
- ⑤ 46.9.6; 福井地区講演会(共催)/福井市商工会館/講演数: 3 題/参加者: 145 名
- ⑥ 46.10.28; Eckenfelder 教授特別講演会/京都大学/講演数: 1 題/参加者: 61 名
- ⑦ 46.11.15; Kennedy 博士特別講演会(協賛)/京都大学/講演数: 1 題/参加者: 85 名
- ⑧ 47.1.18; 海外事情ならびに今後の海外活動に関する講演会/好文倶楽部/講演数: 3 題/参加者: 60 名
- 6) 講習会
- ① 46.11.6; 工程管理の基礎講習会/大阪科学技術センター/題目: 4 題/参加者: 430 名
- ② 46.10.13~15; 有限要素法講習会(第 1 部入門コース)(共催)/京都大学/題目: 4 題/参加者: 95 名/46.11.17~19; 有限要素法講習会(第 2 部アドバンスコース)(協賛)/京都大学/題目: 6 題/参加者: 75 名
- ③ 46.11.29~30; 破壊の力学とその応用講習会(共催)/日本経済新聞社/題目: 10 題/参加者: 110 名
- ④ 46.12.2; 最近の機械化施工の趨勢と問題点講習会(共催)/大阪科学技術センター/題目: 6 題/参加者: 434 名
- ⑤ 47.2.16~17; 耐震設計と土質工学の問題点講習会(協賛)/大阪科学技術センター/題目: 9 題/映画: 2 編/参加者: 245 名
- ⑥ 47.3.14~15; 騒音振動公害講習会/大阪科学技術センター/題目: 8 題/

参加者: 347 名

7) 研究会

- ① 46.9.22; 工事管理の問題点を探る研究会(第 2 回)/大阪科学技術センター/題目: 3 題/参加者: 55 名
- ② 47.1.26; 構造物、施設の調査に関する研究会(第 3 回)/大阪科学技術センター/題目: 3 題/参加者: 172 名
- 8) シンポジウム
- ① 47.2.7~8; 材料科学シンポジウム(協賛)/大阪科学技術センター/題目: 6 題/参加者: 85 名
- 9) 懇話会
- ① 46.11.24; 中堅土木技術者を対象とする懇話会(第 1 回)/大阪科学技術センター/問題点: 4 題/参加者: 31 名
- ② 47.2.15; 中堅土木技術者を対象とする懇話会(第 2 回)/大阪科学技術センター/問題点: 2 題/参加者: 53 名
- 10) 映画会(一般)
- ① 47.3.14; 映画の夕/大阪科学技術センター/映画: 3 編/参加者: 250 名
- 11) 映画会(学生)
- ① 46.11.24; 第 1 回映画会/明石工業高専/映画: 5 編/参加者: 56 名
- ② 46.11.25; 第 2 回映画会/神戸市立工業高専/映画: 5 編/参加者: 80 名
- ③ 46.11.26; 第 3 回映画会/神戸大学映画: 5 編/参加者: 40 名
- ④ 46.11.27; 第 4 回映画会/関西大学/映画: 5 編/参加者: 48 名
- ⑤ 46.11.29; 第 5 回映画会/大阪工業大学/映画: 5 編/参加者: 153 名
- ⑥ 46.11.30; 第 6 回映画会/大阪市立大学/映画: 5 編/参加者: 58 名
- ⑦ 46.12.1; 第 7 回映画会/近畿大学/映画: 5 編/参加者: 57 名
- ⑧ 46.12.2; 第 8 回映画会/大阪産業大学/映画: 5 編/参加者: 101 名
- ⑨ 46.12.3; 第 9 回映画会/大阪工業高専/映画: 5 編/参加者: 8 名
- ⑩ 46.12.4; 第 10 回映画会/大阪府立工業高専/映画: 5 編/参加者: 63 名
- ⑪ 46.12.6; 第 11 回映画会/京都大学/映画: 5 編/参加者: 35 名
- ⑫ 46.12.7; 第 12 回映画会/立命館大学/映画: 5 編/参加者: 80 名
- ⑬ 46.12.8; 第 13 回映画会/大阪大学/映画: 5 編/参加者: 63 名
- ⑭ 46.12.9; 第 14 回映画会/大阪工業高専/映画: 5 編/参加者: 66 名
- 12) 見学会(一般)
- ① 46.10.2; 第 1 回見学会(和歌山地方)見学先: 和歌山南港・北港, 住友金属和歌山製鉄所/参加者: 28 名
- ② 46.10.26; 第 2 回見学会/見学先:

高浜原子力発電所建設工事/参加者: 45 名

- ③ 47.2.3; 第 3 回見学会(共催)/見学先: 山陽新幹線試乗, 川鉄水島製鉄所/参加者: 52 名
- ④ 47.2.4; 第 3 回見学会(共催)/見学先: 山陽新幹線試乗, 川鉄水島製鉄所/参加者: 50 名
- ⑤ 47.2.28; 山陽新幹線試乗見学会/参加者: 96 名
- 13) 見学会(学生)
- ① 46.10.16; 第 1 回学生のための見学会/見学先: 大阪市下水道中浜下水処理場, 大阪南港連絡橋下部工事/参加者: 76 名
- ② 46.11.27; 第 2 回学生のための見学会/見学先: 近畿地建琵琶湖南郷洗堰, 鉄道公園湖西線今津鉄道建設所/参加者: 36 名
- 14) 懇親会
- ① 46.5.19; 支部総会に伴う懇親会/好文倶楽部/参加者: 48 名
- ② 46.11.24; 懇親パーティー/大阪科学技術センター/参加者: 19 名
- ③ 47.1.18; 会員懇親会/好文倶楽部/参加者: 40 名
- ④ 47.2.15; 懇親パーティー/大阪科学技術センター/参加者: 21 名
6. 中国四国支部
- 1) 支部総会(46.5.31, 山口大学)/
- 2) 役員会 2 回/3) 幹事会 3 回/4) 講演会
- ① 46.5.31; 支部総会に伴う特別講演会/山口大学/講演数: 4 題/参加者: 110 名
- ② 46.5.30; 支部第 23 回学術講演会/山口大学/講演数: 64 題/参加者: 160 名
- ③ 46.11.19; ロスアンゼルス地震の土木構造物の災害について講演会/広島市中国新聞社ホール/講演数: 2 題/参加者: 156 名
- 5) 講習会
- ① 46.10.29; コンクリートに関する講習会/小郡町農協会館/題目: 3 題/参加者: 527 名
- ② 46.11.17; 石灰による土質安定処理工法の講習会/広島市平和記念館/題目: 5 題/参加者: 220 名
- ③ 46.12.1~2; 土工、基礎工の安全管理と災害事故対策講習会(共催)/岡山市建設業会館/題目: 6 題/参加者: 246 名
- ④ 46.12.6; 斜面安定工法講習会(共催)徳島郷土文化会館/題目: 6 題/参加者: 150 名

- ⑤ 46.7.21~29; 第7回水工学に関する夏季講習会(本部と共催)/中国電力会議室/Aコース:10題, Bコース10題/参加者:Aコース126名, Bコース123名
- 6) 映画会
- ① 46.11.22; 土木学会昭和46年選定映画会/中国電力総会場/映画:5編/参加者:143名
- ② 46.11.25; 土木学会昭和46年選定映画会/松江県民会館/映画:5編/参加者:245名
- 7) 見学会
- ① 46.6.1; 第1回見学会/見学先:関門架橋, 新幹線トンネル, 中国縦貫道工事/参加者:45名
- ② 46.12.2; 第2回見学会/見学先:大カ池高架橋, 吉井川橋梁, 相川橋梁, 新幹線岡山駅工事/参加者:40名
- ③ 46.12.10; 第3回見学会/見学先:新吉野川橋, 旧吉野川河口堰, 島田島有料道路工事/参加者:75名
- 8) 優秀卒業生表彰(47.3, 33校, 34名)
- 7. 西部支部

- 1) 支部総会(47.2.20, 九州大学)/2) 役員会1回/3) 幹事会5回/4) 昭和47年全国大会準備委員会1回/5) 講演会
- ① 47.3.7; 佐賀県下の土木事業講演会/佐賀県図書館/講演数:1題/映画:6編/参加者:120名
- ② 47.3.8; 熊本県下の土木事業講演会/熊本郵便貯金会館/講演数:1題/映画:6編/参加者:430名
- 6) 講習会
- ① 46.8.27; 46年度夏期講習会/九重ハイランドホテル/題目:8題/映画:1編/参加者:201名
- 7) 発表会
- ① 46.12.8; 新材料新工法発表会/九電ホール/発表数:4題/映画:1編/参加者:103名
- ② 47.2.20; 昭和46年度研究発表会/九州大学/発表数:111

- 題/参加者:212名
- 8) 映画会
- ① 46.8.26; 夏期講習会に伴う映写会/九重ハイランドホテル/映画:3編/参加者:80名
- 9) 見学会
- ① 46.8.28; 第1回見学会/見学先:熊本新空港, 熊本植木間自動車道/参加者:89名/46.8.28; 第1回見学会/見学先:新日鉄大分製鉄所/参加者:45名
- ② 46.11.10; 第2回見学会/見学先:関門架橋, 新幹線トンネル, ます淵ダム/参加者:44名

2. 出版会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 売上高	87 875 123	1. 売上原価	47 447 734
1. 刊行物売上高	82 730 248	2. 期首棚卸高	16 969 498
2. 広告収入	3 659 600	2. 当期製造原価	51 668 226
3. 印税監修料収入	1 485 275	3. 荷造発送費	428 007
		4. 期末棚卸高	△21 607 997
		2. 一般管理費	25 957 631
		1. 事務費	20 659 797
		2. 借地料	418 712
		3. 振替払込手数料	870 947
		4. 会議費	1 270 678
		5. 減価償却費	450 000
		6. 退職給与	1 200 000
		7. 委員会経費	150 440
		8. その他	937 057
		3. 普通会計へ繰出	5 863 964
		4. 差引剰余金	8 605 794
合計	87 875 123	合計	87 875 123

VII. 会員年間統計

年別	正会員	特別会員						名誉会員	賛助会員	学生会員	合計	
		特級	一級A	一級B	一級C	一級D	二級					小計
46.3	24 023	19	16	57	207	365	89	753	71	30	6 972	31 849
47.3	20 833	28	29	93	249	368	107	874	71	30	3 395	25 203
増減	-3 190	+9	+13	+36	+42	+3	+18	+121	0	0	-3 577	-6 646

◎議案 2. 昭和46年度決算報告書

(自 昭和46年4月1日
至 昭和47年3月31日)

1. 普通会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会員会費	98 833 623	1. 会誌発行費	49 794 193
1. 正会員	66 813 757	2. 論文報告集発行費	12 804 105
2. 学生会員	5 576 120	3. 名簿発行費	9 451 172
3. 特別会員	26 443 746	4. 行事費	8 130 993
2. 論文報告集代	8 310 364	5. 調査研究費	11 448 685
3. 広告収入	23 374 500	6. 土木学会賞費	658 080
4. 行事収入	9 664 391	7. 支部交付金	12 393 419
5. 図書館使用料	1 766 442	8. 図書整備費	1 100 000
6. 収入利子	7 237 212	9. 一般管理費	50 199 712
6. 雑収入	929 863	1. 事務費	41 275 265
7. 出版会計より繰入	5 863 964	2. 借地料	837 586
		3. 会費徴収費	1 768 286
		4. 会議費	2 579 862
		5. 減価償却費	900 000
		6. 退職給与	2 400 000
		7. その他	438 713
		10. 予備費	0
合計	155 980 359	合計	155 980 359

3. 委託研究

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 46年度受入高	50 221 500	1. 研究費	47 084 136
2. 前年度より繰越金	8 000 010	2. 一般管理費	6 750 963
		3. 次年度へ繰越金	4 386 411
合計	58 221 510	合計	58 221 510

4. 吉田博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東京電力株配当金	2 630 600	1. 賞金	100 000
2. 貸付信託預金利子	440 880	2. 奨励金	2 100 000
3. 銀行預金利子	44 359	3. 賞牌	81 000
4. 前年度より繰越金	2 866 399	4. 受賞者旅費	55 720
		5. 委員会費	51 970
		6. 論文審査費	0
		7. 事務費	35 850
		8. 雑費	13 153
		9. 次年度へ繰越金	3 544 545
合計	5 982 238	合計	5 982 238

5. 田中博士記念事業会計

取 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 鉄道建設債券利子	412,500	1. 賞 金	0
2. 東京電力社債利子	190,000	2. 賞 牌	0
3. 貸付信託預金利子	410,850	3. 受賞者旅費	0
4. 銀行預金利子	86,691	4. 論文審査料	0
5. 前年度より繰越金	2,905,825	5. 委員会費	48,620
合 計	4,005,866	6. 事 務 費	81,570
		7. 次年度へ繰越金	3,875,676
		合 計	4,005,866

6. 日本土木史編集会計

取 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 収入利子	65,355	1. 委員会費	68,215
2. 前年度より繰越金	1,168,234	2. 編集諸費	453,882
合 計	1,233,589	3. 次年度へ繰越金	711,492
		合 計	1,233,589

貸 借 対 照 表

(昭和47年3月31日現在)

借 方 (資産の部)		貸 方 (資本及負債の部)	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(346,875,120)	(負債の部)	(145,106,142)
流動資産	283,019,794	流動負債	115,497,512
現金	311,670	未払金	33,925,990
預金	164,041,372	預り金	39,847,875
有価証券	46,131,752	仮受金	557,835
売掛金	18,317,518	前受金	41,165,812
未収入金	23,544,050	引当金	29,608,630
貸付金	2,642,000	減価償却引当金	12,648,357
仮払金	0	退職手当引当金	16,960,273
立替金	1,034,944	(資本(純資産)の部)	(201,768,978)
前払金	507,608	基 金	46,877,585
棚卸図書	21,607,997	一般基金	7,929,939
仕掛品	4,880,883	吉田博士記念基金	28,485,146
固定資産	63,855,326	田中博士記念基金	10,462,500
建物及諸施設	52,433,072	元 入 金	63,290,046
什器及備品	11,422,254	事務所及備元入金	24,079,017
		図書館建設元入金	39,211,029
		特 別 会 計	8,131,713
		吉田賞会計	3,544,545
		田中賞会計	3,875,676
		日本土木史編集会計	711,492
		剰 余 金	83,469,634
		繰 越 金	83,469,634
借方合計	346,875,120	貸方合計	346,875,120

監 査 報 告 書

昭和46年度決算報告書(普通会計, 出版会計, 委託研究, 吉田賞会計, 田中賞会計, 日本土木史編集会計), 貸借対照表, 附属明細表を監査の結果適正妥当と認めます。

昭和47年5月12日

監事 柳 瀬 珠 郎

◎議案 3. 名誉
会員の推挙

安芸皎一君 関
東学院大学教授, 首都圏整備委員会委員
篠原武司君 日本鉄道建設公団総裁
平井弥之助君 (財)電力中央研究所理事 (社)発電力協会会長

◎報告 評議員
会の決議事項

1. 第57回通常総会提出議案, その他: 46.5.20 定例評議員会にて可決

2. 特別委員会費の改正: 47.1.19 臨時評議員会にて可決

3. 昭和47年度事業計画および予算(33~35ページ参照): 47.3.30 定例評議員会にて可決

◎表彰

1. 土木学会賞の授与
功績賞:

稲浦 鹿蔵君
田中 茂美君

技術賞:

○山陽新幹線六甲トンネルの建設—高圧湧水を伴う大断面層破さい帯突破工法—/日本国有鉄道大阪新幹線工事局

○大阪高潮対策事業としての安治川大防潮水門/大阪府土木部

論文賞:

(1) 論文賞
○貨物輸送近代

化に伴う最適輸送配分とネットワーク上の適正配置についての研究(日本国有鉄道技術研究報告 No. 777 46年10月) 原田 実君

(2) 論文奨励賞

○フィルダムの地震応答解析法に関する一連の研究(総合題目)
電力中央研究所技術研究所報告 (No. 68032 43年9月)
電力中央研究所技術研究所報告 (No. 68050 43年11月)
電力中央研究所技術第二研究所報告 (No. 71004 46年8月)
電力中央研究所技術第二研究所報告 (No. 71009 46年12月)

渡辺 啓行君
○確率モデルによる多孔体内の流れのシミュレーション(土木学会論文報告集第187号 46年3月)

武内 等君
○異方圧密粘土の状態曲面について(英文)(土木学会論文報告集第196号 46年12月) 太田 秀樹君

吉田賞:

○鉄筋コンクリートの付着およびひびわれに関する研究(総合題目)
(Journal of the American Concrete Institute, April 1971, No. 4, Proceedings Vol. 68.)
コンクリートライブラリー 第2号
コンクリートライブラリー 第14号
後藤 幸正君

田中賞:

(1) 論文部門 ○該当なし
(2) 作品部門
○山陽新幹線吉井川橋りょう
○京浜大橋
2. 吉田研究奨励金の授与
(1) 一般公募のもの
○鉄筋コンクリートの付着—すべり機構に関する研究— 荒木 毅君
○ポンドによらない複合PC部材の力学的特性に関する研究 宮本 征夫君・鳥居 興彦君
○コンクリートのような多相複合材料の破壊に関する基礎的研究 小林 昭一君

○コンクリートにおける膨張混和材の複合特性に関する基礎研究 辻 幸和君
(2) 委員会が必要と認めた調査研究
○プレストレストコンクリートのレラクセーション, クリーブおよび乾燥収縮の設計用値の調査研究 土木学会コンクリート委員会

○コンクリートとくにセメントペーストと骨材の複合機構の研究 岩崎 訓明君・小林 正几君
塚山 隆一君

◎新任理事および監事の紹介

新任	留任	
理事・会長 岡本 舜三		埼玉大学教授
理事・副会長 石川 豊		日本鉄道建設公団理事 建設省事務次官
“ 坂野 重信		九州大学教授
“ 横道 英雄		北海道大学教授
専務理事 下村 肇		(株)大林組取締役
“ 足立 力		建設省東北地方建設局企画部長
“ 浅間 隆		徳島大学教授
“ 荒木 謙一		清水建設(株)取締役
“ 市田 洋		(株)地崎組副社長
“ 小山内了介		日本道路公団企画調査部長
“ 大塚 勝美		大成建設(株)専務取締役
“ 岡田 政三		東京電力(株)高瀬川水力建設本部副部長
“ 金子喜太郎		大阪市港湾局長
“ 叶 清		京都大学教授
“ 後藤 尚男		(株)鴻池組常務取締役
“ 鈴木 立夫		運輸省第3港湾建設局長
“ 竹内 良夫		広島県住宅供給公社常務理事
“ 田辺 義亮		京都大学教授
“ 長尾 義三		東京都建設局道路監
“ 難波 隼象		北海道開発局土木試験所長
“ 林 正道		日本国有鉄道建設局計画課長
“ 半谷 哲夫		早稲田大学教授
“ 平嶋 政治		東京大学教授
“ 福岡 正巳		名古屋工業大学教授
“ 細井 正延		東北大学教授
“ 松本順一郎		建設省計画局技術調査官
“ 三浦 孝雄		日本道路公団福岡支社長
“ 吉田 壽市		名古屋市下水道局長
“ 米田 啓一		三井共同建設コンサルタント(株)常務取締役
監 事 奥田 教明		前田建設工業(株)取締役
“ 渡辺 豊		

▶昭和 47 年度事業計画◀

(自昭和 47 年 4 月 1 日)
(至昭和 48 年 3 月 31 日)

土木工事に関する学術・技術の水準を高めるため、調査研究を活発に行なうほか、土木界の発展について検討し、学会誌、論文報告集の内容の充実をはかり、新刊図書の内容の充実をはかり、研究発表会、講演会、見学会等を盛んにし、国内的には他の分野との連携を強め、国際的には学術・技術の交流を密にする。

また、各地域に応じた活動を積極的に推進し、あわせて会員の増加をはかる。本年度のおもな事業は次のとおりである。

- 1) 総会(47年5月29日 東京都):昭和46年度事業報告および決算報告/名誉会員の推挙/土木学会賞および吉田研究奨励金の授与/新役員を紹介
- 2) 評議員会:4月末日まで 半数改選/5月 定例会議;総会提出議案の審議/3月(48年)定例会議;昭和48年度事業計画および予算の決定
- 3) 理事会:4月末日まで 理事および監事半数改選/毎月1回 会務決定
- 4) 支部長および支部幹事会議:不定期 2回
- 5) 各種委員会等

(総務関係)

1. 表彰委員会:功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞の各選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行ない、土木学会賞受賞候補を決定する。

2. 論文賞選考委員会:論文賞候補の選考を行なう。

3. 吉田賞選考委員会:吉田賞候補ならびに吉田研究奨励金被授与候補の選考を行なう。

4. 田中賞選考委員会:田中賞候補(論文部門、作品部門)の選考を行なう。

5. 土木学会創立60周年記念事業委員会:60周年記念事業に関する検討を行なう。

(企画関係)

6. 企画委員会:科学技術、経済等の発展の見通しと、これに伴って土木界の果たすべき役割について検討し、学会活動の強力化を推進する。

7. 行事企画委員会:全国大会をはじめ、諸行事の企画、調整、推進をはかる。

(出版関係)

8. 土木学会誌編集委員会:土木学会誌57巻4号から58巻4号(臨時増刊号1冊を含む)13冊の編集を行ない内容の

岡本舜三新会長の略歴

明治42年11月3日の東京生れで満62才。

昭和7年、東京帝国大学工学部土木工学科卒。大分県技手、愛媛県道路技師をへて昭和17年2月、母校より助教授に招かれ千葉の第二工学部勤務、22年工博となり教授に推される。26年、第二工学部は生産技術研究所に改組され引き続き同研究所第1部に所属し研究活動を続ける。昭和37年、同研究所は千葉より現在の港区六本木に移転、39年4月より41年3月までの4年間は研究所長を併任して所内の管理にあたられた。45年3月、東京大学を定年で退官され名誉教授となり、乞われて埼玉大学理工学部教授として巾広く活躍中である。

土木学会においては昭和21、22、27年度理事、38年度副会長として運営に努力きれたほか、数多くの研究委員会において委員、委員長などを歴任、わが国のみならず世界各地の主要地震災害調査にはほとんど加わり、国際会議、シンポジウムなどへの出席も多く、日本の耐震工学者としては建築の武藤清博士とともに国際級との評価が高く、現在も耐震工学委員会委員長、岩盤力学委員会委員長、原子力土木委員会耐震部会長などをつとめている。

現住所:〒280 千葉市穴川1-4-18. Tel. 0472-51-5573

充実をはかる。

9. 土木学会論文編集委員会:論文報告集200号から211号の編集を行ない内容の充実をはかる。欧文論文集2冊を編集する。

10. 出版委員会:学会出版物(監修出版物を含む)の企画、調整および管理を行なう。

11. 土木工学叢書委員会:「土木工学叢書」の企画を行なう。

12. 日本土木史編集委員会:「昭和16年より昭和40年まで」の日本土木史の編集を完了する。

13. わかり易い土木講座編集委員会:「わかり易い土木講座」の企画ならびに編集を行なう。

(調査関係)

14. コンクリート委員会:コンクリート材料およびコンクリート構造物に関する調査研究を行なうほか、「プレストレ

ストコンクリート設計施工指針」の改訂を行なう。

15. 水理委員会：水理学に関する調査研究を行なうほか、水理講演会、水工学研修会を開催する。

16. 海岸工学委員会：海岸工学に関する調査研究を行なうほか、海岸工学講演会を開催し、「Coastal Engineering in Japan」の編集を行なう。

17. 耐震工学委員会：耐震工学に関する調査研究を行なうほか、地震工学研究発表会を開催する。

18. 原子力土木委員会：原子力土木に関する耐震、廃棄物処理、コンクリート、立地等の調査研究を行なう。

19. トンネル工学委員会：トンネル工学に関する調査研究を行なう。

20. 衛生工学委員会：衛生工学（環境問題を含む）に関する調査研究を行なうほか、衛生工学研究討論会を開催する。

21. 岩盤力学委員会：岩盤力学に関する調査研究を行なうほか、岩盤力学に関するシンポジウムを開催する。

22. 構造工学委員会：構造工学に関する調査研究を行なう。

23. 鋼構造委員会：鋼構造に関する調査研究を行なう。

24. 大学土木教育委員会：大学土木教育に関する調査研究を行なう。

25. 高校土木教育委員会：高校土木教育に関する調査研究を行なう。

26. 土木計画学研究委員会：土木計画学に関する調査研究を行なうほか、土木計画学シンポジウム、土木計画学講習会を開催する。「土木計画学シリーズ」の企画を行なう。

27. 視聴覚教育委員会：視聴覚に関する調査研究を行なうほか、映画コンクールを開催する。

28. 海洋開発委員会：海洋開発に関する調査研究を行なうほか、海洋開発シンポジウムを開催する。

29. 海外活動委員会：海外との連携、海外事情の調査、海外進出のための方策を検討するほか、日本の土木技術を海外へ紹介する。「Civil Engineering in Japan」を編集する。

30. 建設コンサルタント委員会：建設コンサルタントに関する諸問題の調査研究を行なう。

31. 安全問題研究委員会：土木工事の安全に関する諸問題の調査研究を行う。

32. 文献調査委員会：内外の文献を調査し、土木図書館の図書整備を行なう。

33. 懇談会：総合開発、水資源問題、パイプライン、電算機、建設業、土木会

館建設等について、それぞれ懇談会を設け問題点の検討を行なう。

34. 予想される委託研究：官公庁、業界等からの委託により、次のような調査研究を行なう。

(1) 土木構造物の設計標準に関する調査研究 (国鉄)

(2) 土木建造物の取替標準に関する調査研究 (国鉄)

(3) 合成桁鉄道橋の設計標準に関する調査研究 (国鉄)

(4) 青函トンネルの土圧に関する調査研究 (鉄道公団)

(5) 海洋構造物に関する調査研究 (鋼材クラブ)

(6) 本州四国連絡橋、鋼上部構造耐風・耐震に関する調査研究 (本四公団)

(7) 下水汚泥の農業利用に関する調査研究 (建設省)

(8) 下水汚泥の海洋還元に関する調査研究 (東京都)

(9) 下水汚泥の脱水等に関する調査研究 (札幌市)

(10) 下水汚泥の脱水等に関する調査研究 (藤沢市)

(11) 下水汚泥の脱水等に関する調査研究 (大阪市)

(12) 琵琶湖の将来水質に関する調査研究 (近畿地建)

(13) 中海干拓事業に関する調査研究 (中四農政局)

(14) 八郎潟干拓事業に関する調査研究 (東北農政局)

(15) フライアッシュに関する調査研究 (フライアッシュ協会)

(16) P C杭設計施工指針に関する調査研究 (ポールパイル協会)

(17) 膨張セメントを混和材として用いたコンクリートに関する調査研究 (3社)

(18) 沈埋トンネルに関する調査研究 (建設省)

(19) 沈埋トンネルに関する調査研究 (運輸省)

(20) 鋼製セグメントに関する調査研究 (鋼材クラブ)

6) 行事

47年4月 第9回理工学における同位元素研究発表会 (共催) (東京都)

5月 第3回海洋開発シンポジウム (東京都)

第3回安全工学国内シンポジウム (共催) (東京都)

第58回通常総会

(東京都)

6月 第10回接着研究発表会 (共催) (東京都)

“ダム基礎岩盤グラウチングの施工指針”講習会

(東京都)

7月 第12回地震工学研究発表会 (東京都)

7月～8月 第8回水工学に関する夏期研修会 (東京都)

8月 昭和47年度夏期講習会 (東京都)

第5回土木計画学講習会 (東京都・大阪市)

9月 “構造物の地震応答解析と实例”講習会 (東京都)

第16回回材料研究連合講演会 (共催) (京都市)

10月 昭和47年度全国大会 (福岡市)

第22回応用力学連合講演会 (共催) (東京都)

11月 第19回海岸工学講演会 (東京都)

第19回風に関するシンポジウム (共催) (東京都)

第19回橋梁・構造工学研究発表会 (共催)

(東京都)

48年1月 第9回衛生工学研究討論会 (東京都)

第7回土木計画学シンポジウム (東京都)

2月 第17回水理講演会 (東京都)

第8回岩盤力学に関するシンポジウム (東京都)

第11回原子力総合シンポジウム (共催) (東京都)

以上のほか、随時講演会、シンポジウム、研究発表会、見学会、映画会等を開催する。

また、各支部においても諸行事を定期、不定期に開催する。

土木用語辞典

土木学会監修：コロナ社・技報堂刊

● B 6・1460 ページ

収録語数 10 000 語内外

● 用語にはそれぞれ定義をつけ、可能なかぎり図版を入れ、英・独・仏語をつけた。

5 500 円(千共)申込先：土木学会

▶昭和47年度予算◀

(自 昭和47年4月1日
至 昭和48年3月31日)

1. 普通会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会員会費	118 225 000	1. 会誌発行費	58 120 000
1. 正会員	68 830 000	2. 論文報告集発行費	14 920 000
2. 学生会員	5 450 000	3. 名簿発行費	4 000 000
3. 特別会員	43 945 000	4. 行事費	11 080 000
2. 論文報告集代	12 240 000	5. 調査研究費	14 950 000
3. 広告収入	21 304 000	6. 土木学会賞費	850 000
4. 行事収入	11 175 000	7. 支部交付金	16 544 000
5. 図書館使用料	2 170 000	8. 図書整備費	1 400 000
6. 収入利子	6 800 000	9. 一般管理費	57 634 000
7. 雑収入	250 000	1. 事務費	46 705 000
8. 出版会計より繰入	9 834 000	2. 借地料	947 000
		3. 会費徴収費	2 020 000
		4. 会議費	2 815 000
		5. 減価償却費	930 000
		6. 退職給与	3 100 000
		7. その他	1 117 000
		10. 予備費	2 500 000
合計	181 998 000	合計	181 998 000

2. 出版会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 売上高	91 470 000	1. 売上原価	43 910 000
1. 刊行物売上高	87 270 000	1. 期首棚卸高	22 085 000
2. 広告収入	2 500 000	2. 当期製造原価	54 350 000
3. 印税監修料収入	1 700 000	3. 荷造発送費	500 000
		4. 期末棚卸高	△33 025 000
		2. 一般管理費	31 014 000
		1. 事務費	23 282 000
		2. 借地料	474 000
		3. 振替払込手数料	1 040 000
		4. 会議費	1 407 000
		5. 減価償却費	465 000
		6. 退職給与	1 550 000
		7. 委員会経費	200 000
		8. その他	2 596 000
		3. 普通会計へ繰出	9 834 000
		4. 差引剰余金	6 712 000
合計	91 470 000	合計	91 470 000

3. 委託研究

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 46年度受入高	46 510 000	1. 研究費	43 293 000
2. 前年度より繰越金	2 890 000	2. 一般管理費	6 107 000
		3. 次年度へ繰越金	0
合計	49 400 000	合計	49 400 000

4. 吉田博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東京電力株配当金	2 630 000	1. 賞金	100 000
1. 貸付信託預金利子	441 000	2. 奨励金	2 100 000
3. 銀行預金利子	42 000	3. 賞牌	90 000
4. 前年度より繰越金	3 300 000	4. 受賞者旅費	180 000
		5. 委員会費	200 000
		6. 論文審査費	110 000
		7. 事務費	50 000
		8. 雑費	5 000
		9. 次年度へ繰越金	3 578 000
合計	6 413 000	合計	6 413 000

5. 田中博士記念事業会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 東京電力社債利子	380 000	1. 賞金	100 000
2. 貸付信託預金利子	411 000	2. 賞牌	90 000
3. 銀行預金利子	79 000	3. 受賞者旅費	40 000
4. 前年度より繰越金	3 586 000	4. 論文審査料	40 000
		5. 委員会費	150 000
		6. 事務費	80 000
		7. 次年度へ繰越金	3 956 000
合計	4 456 000	合計	4 456 000

6. 日本土木史編集会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 収入利子	15 000	1. 委員会費	300 000
2. 前年度より繰越金	710 000	2. 編集諸費	425 000
		3. 次年度へ繰越金	0
合計	725 000	合計	725 000

◎懇親会

総会、特別講演会が終了したあと、17.00より私学会館においてなごやかな懇親会が開かれた。新名誉会員、功績賞受賞者などの長老から若い奨励賞受賞者など90余名が一堂に会して時のたつのも忘れて談笑がつづいた。



懇親会会場

土木 施工技術 雑誌

8月号 7月20日発売 定価 260円 千40円

〔特集〕土木技術と海象

- | | | | |
|-----------------------|-------|---------|------|
| 1.海象を中心とした土木の諸問題 | | 東京大学 | 堀川清司 |
| 2.海象とそのメカニズム | | 港湾技術研究所 | 合田良美 |
| 3.海象と構造物設計 | | 東海大学 | 長崎作治 |
| 4.漂砂の港湾施設、構造物基礎への影響 | | 港湾技術研究所 | 田中則男 |
| 5.鹿島港工事と海象の問題 | | 運輸省 | 酒井尚雄 |
| -防波堤工事・しゅんせつ工事 | | | |
| 6.大島大橋架橋工事と海象の問題 | | 日本道路公団 | 沼田耕一 |
| 7.油田掘削用プラットフォームと海象の問題 | | 日本海洋掘削 | 安田栄一 |

〈講座〉

- | | | | |
|---------------|-------|----------|------|
| ネットワークテクニクの実務 | | 久保田建設 | 野木貞夫 |
| 基礎工法の選び方 | | 鹿島建設 | 島田安正 |
| 積算のシステム化 | | 阪神高速道路公団 | 高野耕輔 |
| | | | 荻野塚剛 |

日刊工業新聞社

東京都千代田区九段北1-8-10

・6月発売・

施工管理の基礎知識

吉野技術士事務所 吉野次郎著

A5判 210ページ

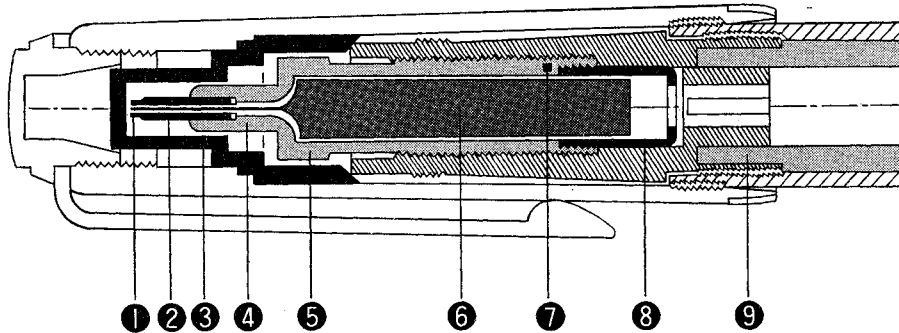
定価 1,200円(千150)

従来単なる経験技術として扱われてきた施工管理技術は、「工事の大規模化、複雑化にともない、その基礎となる近代的管理技術を持たねば対処できなくなった。本書は各章に諸検定試験問題を含む演習を加え、基本的な施工管理技術を解説。

■主要目次

- 1.施工管理と管理技術
- 2.工程管理
- 3.品質管理
- 4.原価管理
- 5.安全管理
- 6.建設機械の運用と管理
- 7.施工管理のシステム化と情報処理

マルス-700 製図ペン — その秘密 —



- ① 先端はクロム バナジウム メッキ精密仕上げ。磨耗が少なく製図面と完全に接触し線巾が正確。
- ② 特殊鋼チューブは他社製品より長く定規にあてても先端が見やすい。
- ③ ソフトポリエチレンの二重キャップは外部からの空気をシャ断し、乾燥を防ぐ。

- ④ レロイ式レタリングスクライバーにも使用できる円柱形のポイント。
- ⑤ ペン先のプラスチック部は全体が線巾別に色分けされていて見分け易い。
- ⑥ 中針の重りの部分はプラスチックでカバーされ、インキの泥土化を防ぐ。
- ⑦ 空気調節孔から適量の空気を送り込み、ペンはいつでもスムーズに書ける。

- ⑧ 安全ネジは洗浄や交換の際、ペン先内の針の飛び出しを防ぐ。
- ⑨ マルス独特のデザインでインキがカートリッジから洩れない。

STAEDTLER

ステッドラー製図用品部

リーベルマン・ウェルシュリー&Co.,S.A.

東京都千代田区大手町2-3-6タイムライフビル8F

TEL 03(270)6441 大代表

DOBOKU-GAKKAI SHI / JUL. '72